Feature

特集

LHV TRAVELER
Vol. 06

リバティヒルバケーションと創るオーダーメイドの旅
欧州を鉄道で巡る音楽の旅

リバティヒルバケーションでは、国内・海外を問わず、個人旅行やパッケージツアー、クルーズ等、様々な旅のお手伝いをさせて頂いております。今回は、多くのメンバー様にご好評頂いている「オーダーメイドの旅」を特集致します。趣味の音楽を活かして、ヨーロッパの鉄道の旅にトライされた、当クラブメンバーご夫妻にご協力を賜り、レポートをお届け致します。

リバティヒルバケーション
岩崎 治幸

自分達のペースで回る旅はとても楽しい！

私達夫婦は、電車の中のポスター・テレビ番組・雑誌・人との出会い等から、「次の旅先はどこにしようか…」と、常にアンテナを張って、日々を過ごしています。

すると、不思議にも、自然に、旅のイメージを創る事が出来るのです。

今回の旅行先の中心は、「ドイツ」。

ドイツと言えば、私の大好物のビールをお昼から飲み、ちょっと疲れたと言い訳をしては、各地の地ビールを飲み比べる。そんな毎日が想像出来ますが、それだけでは、もったいない！　私は数年前から、クラシカルミュージックを勉強し始め、昨年からは、バッハのメヌエットにも取り組んでいます。

そこで、今回は、テーマを『**バッハの足跡を鉄道で巡る音楽の旅**』と決めました。

訪れてみたい場所にどうやって行くか、どこに何泊するか、どのようなルートにするか…。想像するだけで、心が躍り、私達の気持ちはドイツに飛んでいます！

それでは、成田空港からデュッセルドルフへ、旅立ちましょう！

バッハハウス

アイゼナハ中央駅

ケルン大聖堂とライン川

Eisenach アイゼナハ

バッハの空気に触れてみたくて、アイゼナハへ。
偉大な音楽家が、こんな小さな街に生まれたのかと、正直驚きました。
バッハハウスには、オーディオ室があり、ゆっくり音楽を聴く事が出来ます。
一泊もすれば十分に観光出来る街ですが、もう暫く滞在して、もっとバッハの音楽を聴いていたい気持ちを胸に、この地を後にしました。

Kapuziner Weissbier
ドイツ地ビール

Köln ケルン

ケルンは、デュッセルドルフ空港から近く、アクセスも良いので、急遽、訪問した街です。
大聖堂からの景色は、とても素晴らしく、まるでガリバー旅行記の世界そのものです。歩いている人々が、小さなお人形に見えました。

ドレスデン市内を望む

ドレスデン中央駅

ライプツィヒ ニコライ教会

Dresden ドレスデン

レジデンス宮殿が印象的でした。豪華絢爛な器等を目の前にすると、感動で、圧倒されてしまいます。
ここは、大きな街なので、とても賑やかなです。
歩き疲れたので、路面電車にもトライ！ ところが、チケットの買い方が分からず、困っていたところ、ドレスデン在住6年の日本人夫婦が、丁寧に教えて下さり、無事、路面電車も利用する事が出来ました。

Kostriber Schwarzbier
ドイツ地ビール

Leipzig ライプツィヒ

ライプツィヒは、ドイツを代表する音楽の街です。
現地の大学生に話しかけられ、彼らとの会話を、楽しむ事が出来ました。
バッハ博物館では、アンケートに答えて欲しいと、日本語の用紙を渡されました。「日本語で書いて良いの？」と聞くと、「もちろん！」との返事。
バッハが眠っている**ニコライ教会**は、私がどうしても行きたかった場所で、夢が実現しました。

ウィーン学友協会

ウィーン王宮オーケストラ

Wien ウィーン

最後の街は、シュテファン寺院が目の前にある贅沢なホテルに宿泊しました。街のあちこちで、コンサートチケットを売っており、行き当たりばったりで、毎晩**クラッシックコンサート**を楽しみました。
老若男女が、映画を見る感覚で、気軽に音楽を楽しんでいる「ウィーン」は、私の大好きな街となりました。
また、外を歩いていると、あちこちから聞こえてくる鐘の音色に、とても癒されます。ウィーンの人々は、きっとこの教会の鐘の音で、時間がわかるのでしょう。日本のように、街中には時計がありませんから。